

コスタクルーズが2017年クルーズを発表

京都府
舞鶴市



7月20日、コスタクルーズが2017年日本発着クルーズ予定が発表しました。
来年のクルーズ本数は、4月～10月で、なんと32本。福岡・金沢と共に舞鶴港も発着港となり、32本全てが寄港します。

また、来年は「コスタネオロマンチカ」が、新たに日本発着クルーズに投入されます。同船の日本市場投入にあたって、大規模な改装を実施。カジュアル船でありながら、プレミアム船並の船内設備を備えます。

発表されたコースは、下表のとおり。まさに「日本海にぎわい・交流ネットワーク」といった趣のコース設定ですね。

コスタクルーズ(伊)	日数	寄港ルート ※複数発着港	本数
古都と城下町を巡る麗しの日本海と釜山	5泊6日	福岡ー舞鶴ー金沢ー境港ー釜山	24本
ロシア・韓国2都市周遊と日本海	7泊8日	福岡ー舞鶴ー金沢ーウラジオストクーソクチョー釜山	4本
夏の日本海周遊いいとこどり 北海道・韓国	7泊8日	福岡ー舞鶴ー金沢ー新潟ー函館ー釜山	1本
東北ねぶた祭りと日本海周遊・釜山	7泊8日	福岡ー舞鶴ー金沢ー酒田ー青森ー釜山	1本
お気軽日本海ショートクルーズと釜山	4泊5日	福岡ー舞鶴ー金沢ー釜山	2本

海の京都DMO発足

京都府及び舞鶴市など北部7市町は、「海の京都観光圏」が強固に連携し、地域主導によるブランド観光圏を形成するため、(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社(通称:海の京都DMO)を6月28日に設立されました。

海の京都DMOでは、北部7市町の観光協会が順次、統合参加します。各市町の観光協会が市町の枠を越え、圏域DMOとして統合一体化する取組は全国初のものです。

また、7月18日には舞鶴市で「海の京都DMO設立記念フォーラム」が開催され、「観光地域づくりプラットフォーム推進機構」清水慎一会長の講演のほか、同氏コーディネートによるパネルディスカッションが行われました。

海の京都DMOは、京都府北部地域のブランド観光地域づくりに向け、「海の京都」のセカンドステージを牽引する役割を担います。